

AREC・Fi i プラザ 第 223 回リレー講演会 (環境・エネルギー)

「ライブ配信」と後日、「録画コンテンツの配信」をいたします。

- 日 時：令和 2 年 6 月 16 日(火) 14:00~17:10
- 会 場：信州大学繊維学部内 AREC (上田市産学官連携支援施設 4 階)
- 主 催：東信州次世代産業振興協議会・一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター
- 後 援：八十二銀行、上田信用金庫、商工中金長野支店、長野県信用組合、長野銀行 (連携協定金融機関 5 行)

講演 1

14:00~15:00

【演題】「多孔質膜を用いた CO2 分離回収とバイオマス利用技術」

講師：信州大学 繊維学部 化学・材料学科 教授 高橋 伸英 氏

【概要】 地球温暖化が顕在化している。産業革命以前からの気温上昇を 2°C 未満に抑える国際的目標の達成のためには今世紀中に正の CO2 排出量をゼロにする必要があり、あらゆる分野での CO2 排出削減が求められている。CO2 排出量を短期間に大量に削減できる技術として火力発電所など大規模排出源の排ガスから CO2 を分離し、地中に圧入する CO2 分離回収貯留が期待されている。本講演では、講演者が取り組んでいる多孔質膜を利用した CO2 分離技術について紹介する。装置のコンパクト化が可能であり、大規模排出源に限らず分散型の小規模排出源にも適用可能である。また、その他に、化石燃料代替としてのバイオマス利用技術、植物を利用した炭素固定技術について紹介する。

講演 2

15:00~16:00

【演題】「農作物栽培に必要な光を透過する太陽電池」

講師：公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 教授 渡邊 康之 氏

【概要】 現在、我が国では少子高齢化に伴う農業従事者の減少等の渦中であり、世界情勢を視野に入れて考えてみると、地球温暖化や人口爆発によるエネルギー・環境・食糧問題など、深刻な状況に直面していくことが予想される。一方、農地を利用した太陽光発電技術である「ソーラーシェアリング」への期待が高まっているが、農地に設置した太陽光パネルの陰による農作物への悪影響など課題が多いのが現状である。本講演では、上記課題解決に向け、農作物栽培に必要な太陽光を透過する有機薄膜太陽電池を用い、農作物栽培に悪影響を与えることなく太陽光発電を行う「ソーラーマッチング」という新たなコンセプトと実証実験結果について紹介する。

休憩 10 分

講演 3

16:10~17:10

【演題】「長野県工業技術総合センターの環境対応支援」

講師：長野県工業技術総合センター 環境情報部門 環境技術部 主任研究員 高木 秀昭 氏

【概要】 長野県は持続可能な社会を目指して SDGs を推進しています。製造業においても低環境負荷の製品や製造方法が求められます。長野県工業技術総合センターでは、省資源、省エネルギー化等による環境負荷の低減、製品や製造方法の環境評価を行っています。現状を知るために必要な資源やエネルギーの計測と見える化手法、得られたデータからムダをあぶりだす分析手法、資源や手段の違いを LCA 等で評価する環境評価手法などを通じて、環境価値を高め、コスト削減を実現するための支援をしています。講演では、長野県工業技術総合センターの支援概要、事業内容のご紹介と、これまで環境技術部で行ってきた事例もご紹介します。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

電話 (0268-21-4377) [メール \(mousikomi@arecplaza.jp\)](mailto:mousikomi@arecplaza.jp) FAX (0268-21-4382)

下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

AREC・Fi i プラザ 第 223 回リレー講演会 参加申込書		(令和 2 年 6 月 16 日)	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		